

対象国の条件:

研修コース番号:201984759-J002

案件番号:201984759

主分野課題:農業開発/水産

副分野課題:

使用言語:英語

案件概要

本研修では、島嶼国における水産セクターの特性や種々の制約要因の存在に配慮しながら、当該地域の重要課題である水産資源の持続的利用や（零細漁業者の脆弱性を緩和する）水産業多様化に向けた様々な取り組みを紹介し、途上国における効果的な応用法について検討する。

目標/成果	対象組織/人材
<p>【案件目標】 島嶼国の特性に配慮した水産資源の持続的利用策や水産業多様化のアプローチを自国の水産セクター開発に体系的に応用できるようになる。</p> <p>【成果】 (1) 水産業における主要な関係者の役割と機能を理解する。 (2) 水産資源の持続可能な利用に対する課題と効果的なアプローチを理解する。 (3) 水産業生計の多様化に関する基礎知識・技術・ノウハウが向上する。 (4) 問題分析とアクションプラン作成技術が向上する。</p>	<p>【対象組織】 中央・地方政府において水産行政または研究を所掌する組織 水産開発公社 水産関連団体</p> <p>【対象人材】 (資格要件_職位) 水産行政機関職員、普及機関職員、漁民組織関係者 (資格要件_実務経験) 関連業務に3年以上の実務経験を有する事 (資格要件_その他) 口述・聞取・筆記による十分な英語力を持つ者。心身ともに健康で、軍籍にない者。</p>

内 容	
<p>関連情報収集、カントリーレポート作成 (本邦研修+在外研修)</p> <ul style="list-style-type: none"> 水産行政/研究機関の役割と実施体制、漁民組織の機能とその課題 熱帯域の水産資源の特徴と管理、水産資源管理に向けた取組み 水産業多様化に向けた取組み 関連技術の演習（漁業関連技術、水産物加工、民芸品製作など） PCM、事例研究、アクションプラン作成・発表 成果発表会の実施 <p>本邦研修後、約10日間程度在外補完研修予定。</p>	<p>本邦研修期間 2019/5～2019/7</p>
	<p>担当課題部 農村開発部</p>
	<p>所管国内機関 JICA沖縄（研修業務）</p>
	<p>関係省庁</p> <p>実施年度 2018～2020</p>

主要協力機関 (有) 琉球環境マネジメントサービス

特記事項及びホームページ